

熊本県院内がん登録データに係る統計 -2013年診断症例-

医療機関名		独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
-------	---	--------------------------

○基本情報

【平成25年12月現在】

所在地	熊本市中央区二の丸1-5
病床数	550床
診療科数	32科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2007.09.01
平均在院日数	13.3 (日)
入院患者数	13,812 (人)
外来患者延数	162,715 (人)
院内がん登録件数	1,577 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 0 / 他 2 (名)

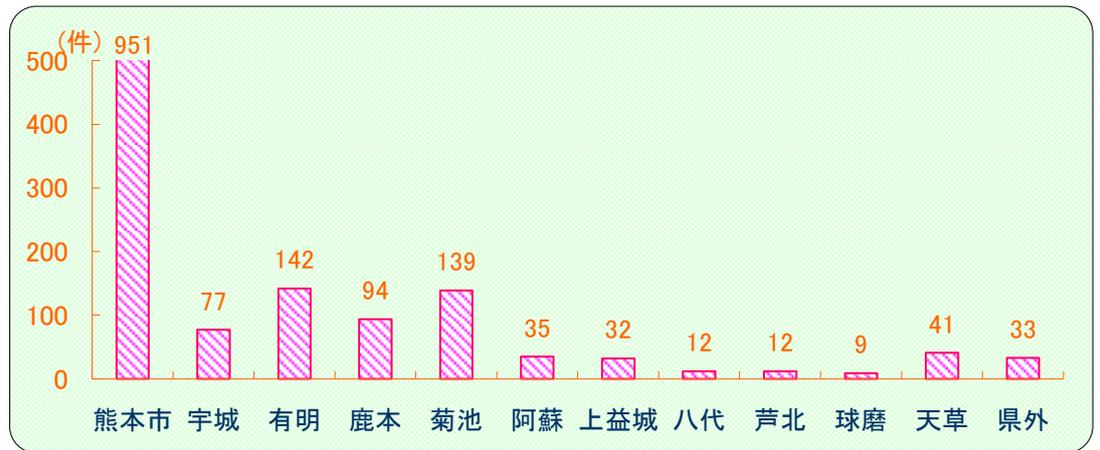
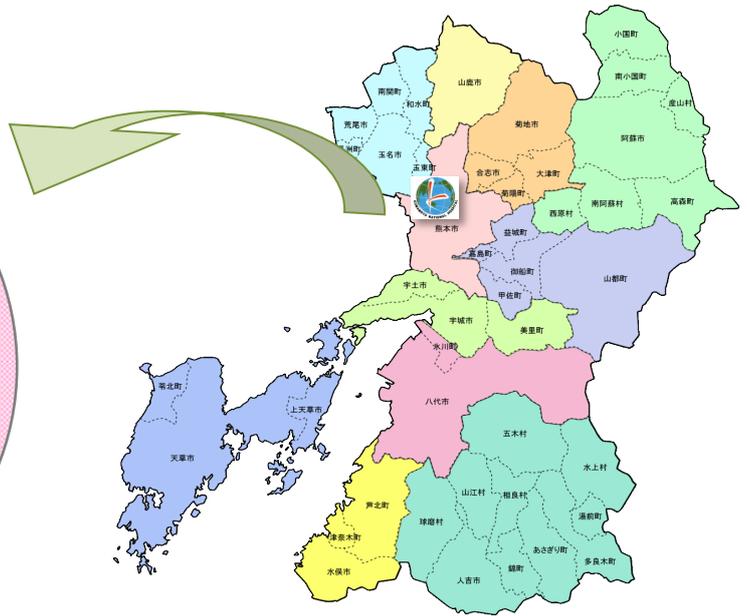
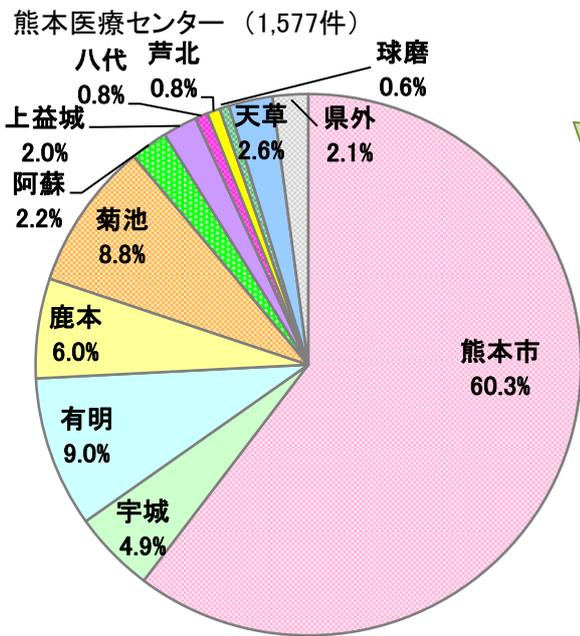
○医療機関からのコメント

**【登録件数・症例数の多い登録部位】**  
 国立病院機構熊本医療センターの2013年診断症例の院内がん登録件数は1577件であり、昨年の1516件と比較して61件増加した。登録件数は1500件台で推移しており、2013年診断症例は最も多い登録件数となった。  
 「③診断年別 主要部位別件数」の登録部位別では、例年通り悪性血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等)が最も多く、313件の登録件数となった。ついで大腸(結腸・直腸)201件、子宮(子宮頸部・子宮内膜)162件、前立腺110件の登録件数となっている。

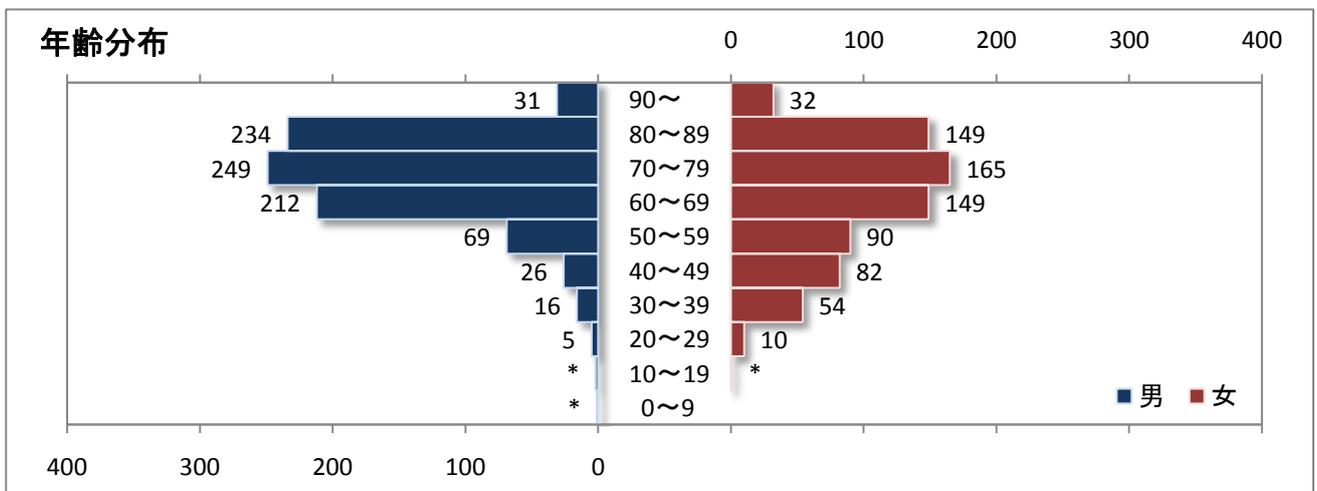
**【症例数の多い部位の主な治療方法・特色】**  
 1)『悪性血液疾患』県下唯一の日本骨髄バンクと日本臍帯血バンクの認定施設として、同種造血幹細胞移植を実践している。また、小児の骨髄移植も実践している。  
 2)『大腸』症例に応じて、患者様の身体的に負担の少ない鏡視下手術を積極的に取り入れている。また、化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。  
 3)『子宮』過去の実績から多くのがん患者様の治療を経験しており、手術療法、化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。  
 4)『前立腺』ホルモン療法、手術療法、放射線療法による集学的治療の実践に加え、2014年より密封小線源治療(ブラキセラピー)を積極的に取り入れており、治療実績を得ている。

**【熊本医療センターの特徴・役割】**  
 精神科を有しており、精神障害を合併されたがん患者様の治療に対応している。  
 また、2015年より腫瘍内科が新設され、がん薬物療法を専門に扱う腫瘍内科医4名の体制となったことで、全ての種類のがん診療に対応することが可能になった。地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、チーム医療、医療連携の充実を図り、より多くの患者様への相談支援体制が整った。

# ① 患者住所医療圏別登録割合と件数



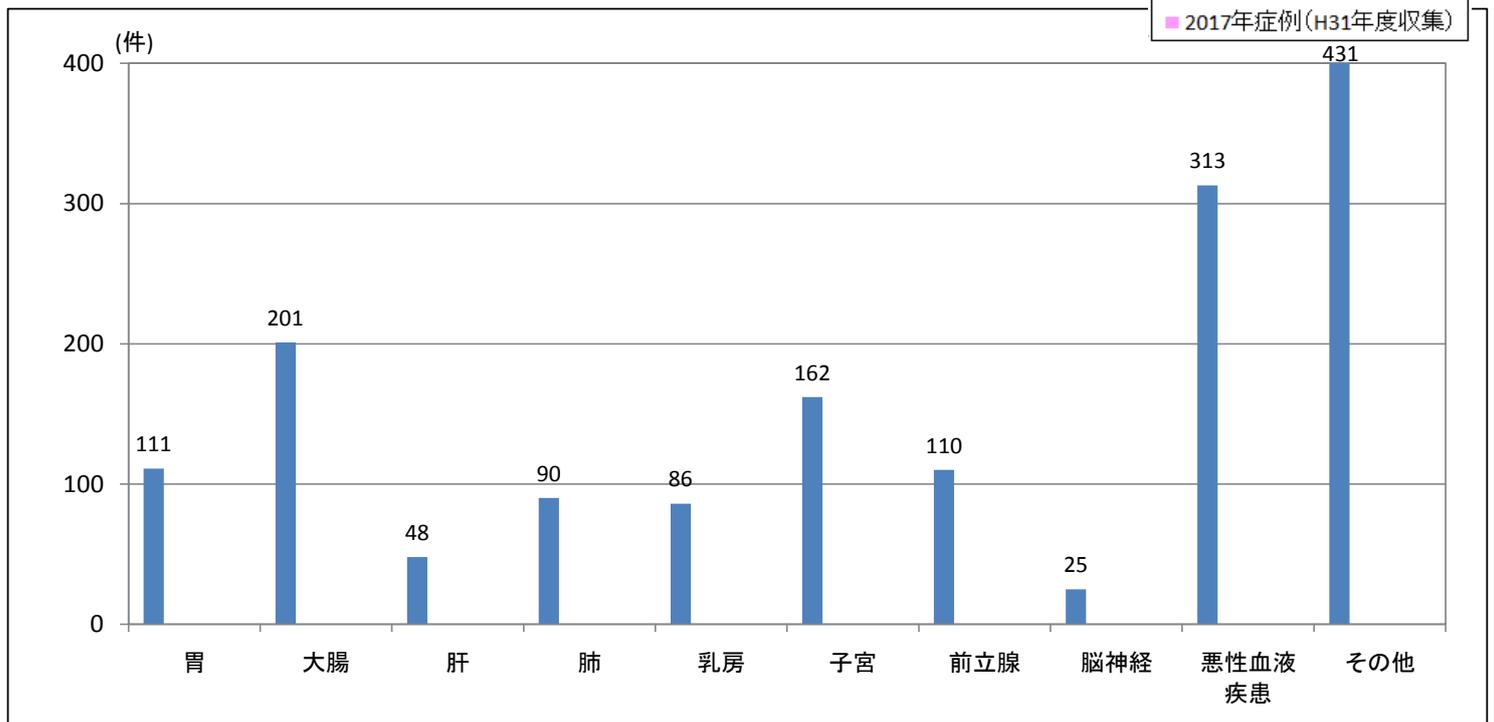
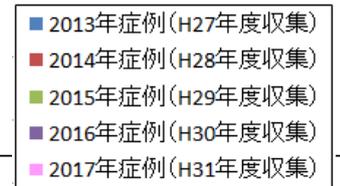
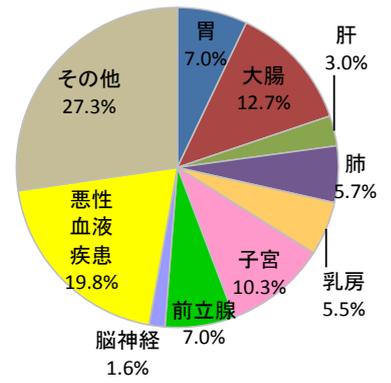
# ② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



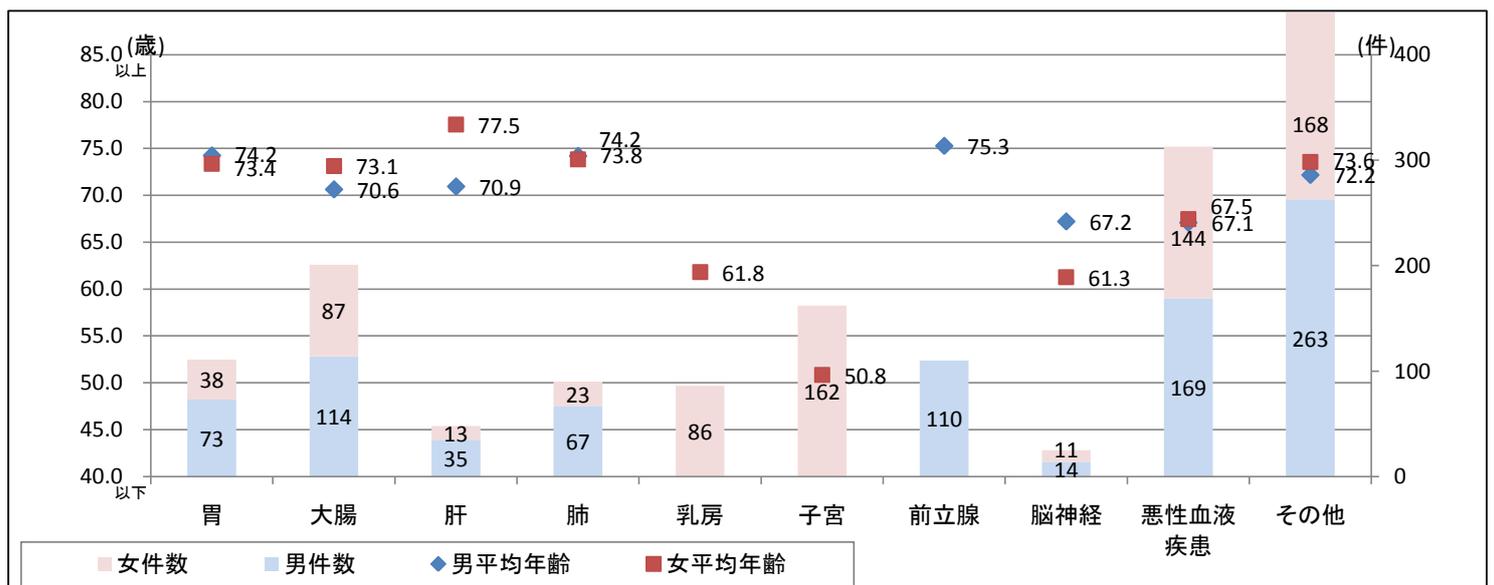
### ③ 診断年別 主要部位別件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
胃	111				
大腸	201				
肝	48				
肺	90				
乳房	86				
子宮	162				
前立腺	110				
脳神経	25				
悪性血液疾患	313				
その他	431				
計	1,577	0	0	0	0

2013年症例 主要部位別割合



### ④ 男女別主要部位別件数と平均年齢



## ⑤ 主要部位別治療の内訳



【赤枠部の治療内容を以下に集計】



- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
胃	67	16	*	19		104
大腸	144	39		47		230
肝	8	*		10		19
肺	*		8	26		36
乳房	28		8	12	18	66
子宮	115		23	25		163
前立腺	8		8	*	61	78
脳神経	5		*			6
悪性血液疾患	*		22	129	15	167
計	378	56	72	269	94	869

